

若者世代を中心としたまちづくりによる次世代人材育成プロジェクト（R6～R8年度）

令和6年度
第1回募集

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	235,025千円（51,435千円）
目的（効果）	若者世代が和歌山市で学び、和歌山市で働くことが叶い、夢や希望を持ちながら潤いのある豊かな生活を安心して営むことができる地域社会を形成するとともに、地域社会を担う個性豊かで多様な人材の確保及び地域における魅力ある多様な就業機会の創出を一体的に推進することで、急激な人口減少に歯止めをかけ、持続可能で未来に希望の持てる和歌山市の実現を目指す。		
具体的使途・実施体制 ※金額はR8年計画ベース	①若者と地域をつなぐまちづくり体制の構築と活動の促進 1年目で実施した体制を活用し、2年目で活動した内容を踏まえ、住民主体、民間連携に向けた自立化を支援するもの。 ・魅力的なまちづくりに向け、自立化に向けた活用を支援するための経費（地域住民が地域の課題・課題解決のための取組内容を話し合うワークショップ開催に係る委託料（人件費・消耗品費）：3,000千円 まちなかに位置する本市シンボルである和歌山城周辺のオープンスペースを活用し、本市の賑わい創出と愛着醸成を図る。 ・子どもや若者を中心としたVR防災体験や各団体の紹介コーナー等の催しに係る経費（各団体のコーナー設営に係る委託料（報償金、借上料、消耗品費、役務費、雑費））：750千円 ・若者に対して集客力のある著名人を招聘し、地元の産品をPRするイベント開催に係る経費（交付金）：0千円 交付対象者：官民で構成する実行委員会、対象経費：和歌山市のPR部分として、市ステージ・ブース、広報費用、事前・事後イベント等に係る経費、補助率：10/10、補助上限：0千円 和歌山市、JR西日本、和歌山県が中心となり、本市の主要駅であるJR和歌山駅及びその周辺の更なる賑わい創出に向け、1年目で検討した内容、2年目での、駅前広場等の公共空間を活用したマルシェ等のイベントを踏まえ、自立化に向けた公共空間活用を民間主体で実施する。 ・駅前広場の機能強化・商店街等を含むまちなかの活性化に向けた民間主体イベントに係る経費（ナイトタイムエコノミー推進に係るイベント委託料（人件費、使用料及び賃借料、印刷製本費、通信運搬費、消耗品費）：10,000千円		

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

若者世代等の市内企業への就職を促進するため、未経験者向けの基礎的な研修からIT部門への就職を想定した専門的なスキルを段階的に学べる研修を1年目、2年目と異なる対象者に対して実施するとともに、受講者に対する就職支援として専門アドバイザーの設置と、企業と受講者への意向をヒアリングし、マッチング等を図る。

・研修及び企業へのマッチングの実施に係る経費（受講者及び企業募集、研修、就職支援に係る委託料（人件費、印刷製本費、広告費）、広告料）：7,070千円

②空き家・空き店舗など地域資源を活用した担い手不足の解消

・新たな試みをする商業関連の事業者を支援する。（補助金）：4,000千円

1年目、2年目に引き続き、更なる新たな試みを支援し、地域の商業活動の活発化を目指す。

①商店街や商店街の個店等が商店街の魅力を発信するために新たに実施する事業（商店街魅力発信事業）に対し補助する。
補助率1/2、補助上限500千円（個店の場合は100千円）、補助対象経費：会場借上料・印刷製本費・通信運搬費・広告宣伝費・消耗品費・施設整備費・委託費・備品借上料等の経費

②商店街や都市再生推進法人等が実施する、夜間における賑わいの創出が見込まれる事業（ナイトタイムエコミー振興事業）に対し補助する。

補助率1/2、補助上限300千円（個店の場合は100千円）、補助対象経費：会場借上料・印刷製本費・通信運搬費・広告宣伝費・消耗品費・施設整備費・委託費・備品借上料等の経費 ※なお、クーポンや販売品の原資となる経費は含まれておりません。

③商店街や都市再生推進法人等が実施する、冬季における賑わいの創出が見込まれる事業（ウィンターエコミー振興事業）に対し補助する。

補助率1/2、補助上限400千円（個店の場合は100千円）、補助対象経費：会場借上料・印刷製本費・通信運搬費・広告宣伝費・消耗品費・施設整備費・委託費・備品借上料等の経費 ※なお、クーポンや販売品の原資となる経費は含まれておりません。

本市での開業を目指す人々を対象に、2日間限定で出店を行うことができるイベントを開催し、新規出店にチャレンジしやすい環境をつくる。

・空き店舗等を活用したイベントを実施する。（イベント運営に係る委託料（人件費、広報費、運営費、消耗品等））：3,115千円

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

本市の魅力ある居心地のよいまちづくりに向けて、商店街での他都市事例に関する講演やまちなかエリアの公園を活用した若者に向けたイベント開催など、官民連携による地域主体のまちづくりを推進し、担い手となる実施主体への新たな取組に対し支援する。（補助金）：3,000千円

1年目、2年目を踏まえ、支援内容等を見直しながら、官民連携による地域主体のまちづくりを推進し、本市の若者への魅力向上に資する活動を支援する経費。（【補助対象者】都市再生推進法人及び歴史的風致維持向上支援法人【補助率】10分の10（事業の実施に伴い収益が発生する場合は、2分の1）【補助対象事業】都市再生特別措置法第119条及び地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律第35条に規定する業務に係る事業）

本市の主要駅の一つである南海和歌山市駅の近傍に位置し、現在遊休公共施設となっている旧和歌山市民会館において、民間活力を最大限に活用し、南海和歌山市駅周辺の更なる賑わい・交流の創出や都市機能の充実を図るため、旧市民会館周辺での賑わい創出イベントを実施する。

・旧市民会館周辺でのイベントを開催に係る経費。（イベント開催に係る委託料（企画運営費、会場借上費、広告費、事務局費、諸経費））：500千円

空き家を活用した1年目、2年目と異なる新たな移住の促進を図るため、2年目で策定した地域ビジョンの方向性を踏まえ、地域のブランド力強化に向け、空き家等を含む集落や漁業の営み等の地域資源を活用した生業や体験、「日本のアマルフィ」と呼ばれる独特のまちなみを活かした夜間の景観づくり等を、実現可能性調査や実証実験等を通じて地域に根付かせ、地域ならではのコンテンツとして、令和9年度を目途とした実装へと結び付ける。また、県外から移住する際に必要な支援を実施するためのサポーター（移住相談や引っ越しの手伝い、空き家の掃除やリノベーションの支援などのトータルサポーター）を設置する。

・2年目に策定した地域ビジョンに基づき実施する、空き家・空き店舗を初めとした未利用・低利用空間において事業者等を呼び込み、地域独自のコンテンツを創出するための実証実験等に係る経費（コンテンツ創出やコンテンツ化に向けた実証、可能性調査にかかる委託料（企画運営費、会場借上げ料、広告宣伝費、什器備品費、事務局費、諸経費））：20,000千円

・空き家を活用した移住サポーターを設置する経費。（委託料）：0千円

大阪・関西万博を契機としたわかやまし観光拡大プロジェクト（R6～R8年度）

令和6年度
第1回募集

事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	381,420千円（109,823千円）
目的（効果）	関西国際空港からのアクセスの良さ等の地理的利点を生かし、外国人が旅ナカだけでなく旅マエから本市の見どころを認識できるような情報発信や、外国人観光客のスムーズな受け入れのための体制づくり等を通して、大阪・関西万博を契機とした外国人観光客の増加に努めるとともに、外国人観光客の周遊を促進し、滞在時間・消費額の増加を図る。		
具体的使途・実施体制 ※金額はR8年計画ベース	①インバウンド獲得に向けたプロモーション ・SNSなどのデジタル技術等を活用し、アジア圏を中心とするインバウンド等に訴求する情報発信を行う。（事業補助金、負担金、メディアを活用したインバウンド向けプロモーションに係る委託料（通信運搬費、人件費等））：23,982千円 引き続き、Instagram広告を活用した効果的なPRを進めるとともに、本市の更なるブランディングを目指す。 1、2年目を通して、県・市町村・観光に関わる団体、事業者等の連携体制を構築し、地域の観光資源を磨き上げる事業を展開する。 最新の観光情報を継続的に発信するため、観光情報ウェブサイトを中心としたメディアを展開し、プロモーション等による発信力の強化や掲載内容の見直し等を実施する。（実施主体：和歌山市観光協会等） ・インバウンドを中心とする観光客が市内の魅力的なコンテンツに関する豊富な情報を入手することのできるパンフレットを制作する。（印刷製本費）：10,600千円 大阪・関西万博によるインバウンド等の誘客を見込み、本市の魅力あふれる観光地、歴史、自然、食等を紹介するとともに、本市を訪れる観光客に対して詳細な観光情報を提供できるようにそれぞれの情報に特化したパンフレットを作成するとともに、需要の増加に基づいて印刷・製本を行う。 制作したパンフレットについては、関西国際空港に最も近い県庁所在地としてのメリットを生かし、市内観光地・本市の玄関口となる関西国際空港などの観光拠点で配布する活用方法のほか、各旅行エージェントへの営業を強化していくための営業資料、積極的に旅行展示会等において配布することで、本市の露出度・知名度を高めるためのツールとして活用する。		

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

②核となるコンテンツの磨き上げと回遊性向上に向けたしくみづくり

・本市の魅力的な観光資源を活用し、インバウンド等に訴求する和歌山市ならではの体験ができる事業を実施する。（動物園を活用したコンテンツ創出に係る委託料（人件費、管理費、消耗品費等））：52,805千円

和歌山城公園動物園を活用し、民間事業者とともにアイデアの考案、取り組みによる「稼ぐ力」を発揮し、1日飼育員体験や1日獣医師体験等のような、長時間滞在に繋がる新たな稼げる体験コンテンツを売り出すとともに、創出した体験コンテンツを含んだツアーの造成など、コンテンツの高付加価値化を目指す。

・インバウンド等観光客の玄関口である主要な拠点において、多様なニーズに対応する観光案内サービスを展開、情報収集・分析を行うとともに、市内各地に点在する観光スポットをつなぐ周遊を促す空間づくりを行う。（負担金、観光案内に係る委託料（人件費、需用費、通信運搬費、消耗品費、使用料及び賃借料）、JR和歌山駅、南海和歌山市駅、和歌山城周辺(ポイ捨て防止重点区域)清掃に係る委託料（人件費、消耗品費）、JR和歌山駅周辺におけるイルミネーションに係る委託料及び補助金）：22,436千円

本市の玄関口となる、JR和歌山駅や関西国際空港、観光の重要拠点である和歌山城において、アジア圏を中心とするインバウンド等が安心して本市を巡ることのできる観光案内サービスを展開するとともに、各種観光情報を発信する。また、大阪・万博開催後の流動的なインバウンド等のニーズを把握し、ニーズに合った取組を展開していくため、引き続き、旅行者の属性・地域等の統計データの集積、分析を行う。（実施主体：和歌山市観光協会等）

JR和歌山駅、南海和歌山市駅、和歌山城周辺において、市民団体と連携しながら、フラワーアートによる和歌山市らしい良好な景観を創出し保つことで、来訪者へのおもてなし力を強化する。

本市の玄関口であり、市内の周遊における重要な拠点となるJR和歌山駅において、人々の動線や市内周遊の拠点となるバスターミナルエリア等について、回遊を促す仕掛けとして作用するイルミネーションを実施することで、本市を訪れた観光客をJR和歌山駅から市内の魅力的な飲食店や娯楽施設へ誘導し、JR和歌山駅を中心に展開する夜間における人の流れを促進する。（委託料、補助金）

補助対象者：和歌山けやき大通りイルミネーション実行委員会

補助率：1/2

補助上限：5,000千円

補助対象経費：報酬・報償費・需用費・委託料・使用料及び賃借料・役務費・備品購入費

和歌山市の未来をつなぐ持続可能な農業振興プロジェクト（R7～R9年度）

令和7年度
第1回募集

事業タイプ・類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	83,622千円（25,814千円）
目的（効果）	農業の魅力発信や新規就農につながるような仕組みづくりを進めるとともに、農産物の6次産業化等を推進することにより担い手の維持・確保を図り、持続可能な農業の実現を目指す。							
具体的使途・実施体制 ※金額はR8年計画ベース	①担い手の育成とスマート農業の普及促進 (ソフト事業経費) ・SNS等の運用に係る経費（使用料及び賃借料）：924千円 本市農業への興味・関心を高め、担い手の掘り起こしにつなげるため、LINEやInstagramといったSNS等を活用し、本市の農業や農産物の魅力等を発信するもの。 ・勉強会等の開催に係る経費（勉強会の開催に係る委託料（会場借上料、報償金、消耗品費））：300千円 農業に興味を持った方が実際に農業を始め、継続できるよう、主にこれから農業を始める方や農業を始めたばかりの方に向けた勉強会等を開催するもの。 ・農作業の省力化や自動化に資する設備の導入等に対する補助金：6,400千円 補助対象者：市内に在住又は本店等を置く農業者、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農地所有適格法人、農業者等をもって組織する団体等 補助率：県補助額の1/6以内 補助上限：6,000千円 補助対象経費：専門アドバイザーの招聘に係る経費等 スマート農業の普及を促進するため、作業の省力化や自動化に資するドローン等の設備の導入等に係る費用のうち、専門アドバイザーの招聘に係る費用等のソフト経費に対して補助を行うもの。 補助対象者：農業者 補助率：10aあたり2500円 補助上限：50,000円							

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

補助対象経費：ドローン農薬散布を委託する費用（圃場計測代、散布作業代、農薬代）
農作業の省力化を推進するため、ドローン農薬散布による防除を委託し行おうとするものに対して補助を行うもの。

（施設整備・事業設備・備品経費）

・農作業の省力化や自動化に資する設備の導入等に対する補助金：6,000千円

補助対象者：市内に在住又は本店等を置く農業者、農業協同組合、農業協同組合連合会、農事組合法人、農地所有適格法人、農業者等をもって組織する団体等

補助率：県補助額の1/6以内

補助上限：6,000千円

補助対象経費：スマート農機等の導入、施設園芸のDX、ハウスの高度化に係る経費等

スマート農業の普及を促進するため、作業の省力化や自動化に資するドローン等の設備の導入等に係る費用に対して補助を行うもの。

②市農産品のブランド化・高付加価値化

・地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対する補助金：4,000千円

補助対象者：地元農産物を生産又は採取する農業を営む個人、農業者の組織する団体・協同組合、法人等

補助率：事業費の1/2以内

補助上限：500千円

補助対象経費：需用費（消耗品費、燃料費、印刷製本費、光熱水費等）・役務費（通信運搬費、手数料等）・委託料等の経費

6次産業化による本市農産物の高付加価値化を推進するため、地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対して補助を行うもの。

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

・有機農産物の生産に取り組む農業者に対する補助金：200千円

補助対象者：市街化区域で、非生産緑地にて環境保全型農業を行う農業者、市街化調整区域で環境保全型農業を行う法人、個人で、国の交付金の要件となる「団体」に属していない農業者（法人）

補助率：10,000円/10a

補助上限：予算の範囲による

補助対象経費：上記補助対象者が作付けする圃場面積

本市農産物の更なるブランド化・高付加価値を促進するため。高単価かつ近年消費者からの需要が高まっている有機農産物を生産する環境保全型農業（有機農業）を行うもののうち、国の要綱から外れる地域、要件で有機農業を行うものに対して支援を行うもの。

・本市農産物を売り出す拠点である道の駅四季の郷公園において、閑散期となる冬季の誘客を促進するためのイベント開催等の事業に対する補助金：3,000千円

補助対象者：指定管理者

補助率：1/2

補助上限：3,000千円

補助対象経費：需用費、委託料、使用料及び賃借料等

本市農産物の認知度拡大によるブランド化や販売機会の増加を促進するため、本市農産物を売り出す拠点である道の駅四季の郷公園において、本市農産物を体験・購入できるにぎわいの場の創出等を図るもの。

・県外・国外における本市農産物の認知度向上を図るため、プレスリリースの配信等のメディア展開を通じた本市農産物等を活用したプロモーションの実施に係る経費（使用料及び賃借料等）：990千円

県外・国外における認知度向上を目指し、プレスリリース配信等のメディア展開を通じて、本市農産物等を生かしたプロモーションを行うもの。

具体的使途・実施体制 ※金額はR8年計画ベース	（施設整備・事業設備・備品経費） ・地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対する補助金：4,000千円 補助対象者：地元農産物を生産又は採取する農業を営む個人、農業者の組織する団体・協同組合、法人等 補助率：事業費の1/2以内 補助上限：1,000千円 補助対象経費：機器費、設備費等の経費 6次産業化による本市農産物の高付加価値化を推進するため、地元農産物やその事業過程で排出される廃棄物等をもとに、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対して補助を行うもの。
------------------------------------	---

文化ツーリズムによる国内観光客推進プロジェクト（R7～R9年度）

令和7年度
第1回募集

事業タイプ・類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	510,365千円（240,850千円）
目的（効果）	誘客に向けた文化資源・文化施設の活用の気運が高まる中、魅力ある文化の創造及び発展並びに地域の個性を生かした文化振興に市民及び民間等と協働しながら取り組み、魅力的な本市の文化資源・文化施設を未来へ引き継ぐことで更なる醸成を図るとともに、観光誘客による経済効果を生み出すことを目指す。							
具体的使途・実施体制 ※金額はR8年計画ベース	①文化的魅力を生かした、来訪者による経済活動を促す事業の実施 ・夜間の集客力強化に係る経費（ドローンショー開催に係る委託料（事前制作関連費、現場運営費、広報費等））：21,250千円 和歌山城をはじめとする本市の文化資源・文化施設とドローン等デジタル技術の融合により文化資源・文化施設の魅力を高めるとともに、国内観光客をターゲットに夜間において集客力の高いイベントを実施するもの。 ・和歌山城のおもてなし力強化に係る経費（交付金、手数料）：12,449千円 本市の主要な文化施設である和歌山城においておもてなし力の向上を図るため、茶室での点出しの民営化に伴う文化体験メニューの充実や和歌山城内におけるキャッシュレス化の導入等を行うもの。 補助対象者：紅松庵運営委員会 補助率：10/10 補助上限：9,796千円 ※9,796千円のうち、本交付金の対象経費は7,396千円 補助対象経費：茶室の運営に係る経費（人件費、消耗品費等） ※補助対象経費のうち使用料収入、雇用保険料収入等の雑収入の充当で賄うものは本交付金の対象経費から除く 補助対象者：市民茶会実行委員会 補助率：10/10 補助上限：1,026千円 補助対象経費：運営費・会場費・謝金・広報費等のイベント開催に関する経費							

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

- ・熊野古道を活用した誘客促進に係る経費：0千円
本市を訪れる観光客に向けて、熊野古道でのウォーキングイベントを実施するもの。本交付金を活用せずに実施予定。
- ・ビッグデータを活用した効果分析に係る経費（使用料及び賃借料）：990千円
イベント実施等による効果を分析するため、ビッグデータを活用し、本市を訪れる人の動態調査を実施するもの。
- ・新たな商品造成に繋げる民間への働きかけに係る経費（ファミトリップ開催に係る委託料（人件費、使用料及び賃借料）、システム使用料）：1,036千円
民間の力を生かし新たな商品造成等へと繋げるため、旅行会社やメディアに対して本市の文化的魅力を売り出すもの。
- ・全国的なシティプロモーションに係る経費（プロモーション事業に係る委託料（広告作成・運営費）、国内向けインターネット広告に係る委託料（広告作成・運営費）、役務費）：15,655千円
大河ドラマ『豊臣兄弟！』放送等の気運を生かし、遠方地域への効果的なプロモーションを実施するもの。
- （施設整備・事業設備・備品経費）
- ・夜間の集客力強化に係る経費（整備工事請負費）：149,919千円
和歌山城天守閣を季節やイベント等に合わせてシンボリックに照らし出し、夜間の賑わい創出に寄与するライトアップ設備の整備を実施するもの。
- ②観光誘客に向けた若者の文化活動への参画の推進
- ・知名度を生かした文化イベントの実施に係る経費（将棋イベント等開催に係る委託料（報償費、借上料等）、印刷製本費、会場その他借上料）：1,117千円
本市の文化に対する若者の興味関心を高めるきっかけとして、将棋イベント等の知名度を生かした文化イベントを実施するもの。

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

- ・地域に賑わいを生み出すイベントの実施に係る経費（負担金）：30,010千円
地域の賑わいを生み出し若者の地域に対する誇りを育むため、若者が企画や運営、広報活動に積極的に参加できる住民参加型の本市の新たなイベント創出に向けて負担するもの。
- ・SNS等を活用した若者に向けた文化的魅力の発信に係る経費（SNS広告配信に係る委託料（役務費・掲載手数料））：6,424千円
若者の文化活動への参加を促すため、SNS等を活用し、本市の文化イベント等の魅力についてプロモーションを行うもの。
- ・若者の文化活動参加を促す仕組みづくりに係る経費（イベント開催に係る委託料（報償金・会場借上料等））：2,000千円
若者の文化活動への継続的な参加を促す仕組みづくりのため、短歌イベント等を開催するもの。

地域に根ざす産業の高付加価値化推進事業（R8～R10年度）

令和8年度
第1回募集

事業タイプ・類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事 業	期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	159,810千円（54,252千円）
目的（効果）	・人口減少社会にあっても地域経済の活力を維持し、持続可能で世界に誇れる都市の実現を目指す。 ・デジタル技術やAI等の活用により、市内中小企業の業務効率化・省人化を促進し、人手不足下においても生産性の向上と経営基盤の強化を図る。 ・地場産業の技術や魅力を国内外へ発信するとともに、外部市場との接続を強化することで、付加価値向上及び新たな販路の開拓を促進する。 ・海外市場の拡大を成長機会として捉え、国際展開を見据えた産業振興を推進する。						
具体的使途・実 施体制 ※金額はR8年 計画ベース	①生産性向上とDX推進 ・展示フェア、専門家等によるセミナーを開催する経費（会場借上料）：23千円 誘致企業を含む先端 I C T 関連企業とのマッチング機会の提供やDX関連の最新情報・成功事例の紹介等を実施するイベントを開催するもの。 ・デジタルツールの導入等を支援する経費（補助金）：3,000千円 市内事業者のDXをさらに促進するため、業務内容や経営課題に応じた最適なデジタルツールの導入等を補助金により支援するもの。 事業主体：民間事業者 補助対象経費：ソフトウェア購入費、外注費・委託費、クラウド利用費、研修費等 補助率：2分の1 補助上限：500千円 ②新たな事業の創出 ・地域課題解決に取り組む起業家やビジネスの創出に係る経費（委託料（プログラム運営費、チラシ印刷費、会場借上費、広告費））：7,000千円 行政だけでは対応困難な地域課題を解決できるゼブラ企業やソーシャルビジネス、スタートアップ等への支援や人材を育成する環境を整備し、本市で地域課題解決に取り組む起業家やビジネスの創出に取り組むもの。						

具体的使途・実
施体制
※金額はR8年
計画ベース

・起業に関心のある女性及び女性起業家を対象に、講演会や交流会開催等に係る経費（委託料（運営費、広告宣伝費、印刷製本費等））：700千円
起業への関心喚起と創業に対する心理的ハードルの低減を図るため、社会課題に取り組む女性起業家の事例紹介や講演会、交流会を実施し、ロールモデルの可視化と参加者ニーズの把握を行う。

③地場産業の維持強化

・自社製品の販路開拓に係る経費（補助金）：7,800千円

販路の多様化による収益機会と経営基盤を強化するため、自社製品の改良・展示会出展・広告宣伝、新たな販売チャネル導入等に係る経費について支援する。

補助対象者：中小企業者等

補助対象経費：出品料、通信運搬費、印刷製本費、会場借上げ費、広告宣伝費等

補助率：2分の1

補助上限：700千円

・地場産業の周知・販路開拓を目的とした展示会開催に係る経費（補助金）：7,220千円

新規取引先開拓や地場産業の周知を促進するため、展示会等を開催する経費について支援する。

補助対象者：中小企業者等

補助対象経費：会場借上費、設営及び運営費、広告宣伝費、SNS等によるプロモーション費等

補助率：2分の1

補助上限：1,000千円

補助対象者：和歌山商工会議所

補助対象経費：地場製品のPR・販売のためのイベント運営に要する経費

補助率：2分の1

補助件数：1件（予算の範囲内）

具体的使途・実
施体制
※金額はR8年
計画ベース

④海外販路拡大

・海外販路開拓に関する機運の醸成に係る経費（海外販路開拓の啓発に係る委託料（講師謝金、広報費等）、本事業に伴う会計年度任用職員報酬等）：8,308千円

輸出の必要性や活用可能な支援策、間接輸出などの取り組みやすい方法について、関係機関と連携しながら、市内事業者への直接訪問や啓発等を行うもの。

・輸出に適した市産品の発掘と国内外での認知度の向上に係る経費（印刷製本費、負担金（海外展開支援事業費、人件費等）等）：1,940千円

市内事業者と国内輸出商社とのマッチング支援や輸出に適した市産品の発掘を行うもの。

・交流都市との関係性を活かした海外展開に係る経費（通信運搬費、会場借上料、外国出張旅費、本事業に伴う会計年度任用職員報酬等）：18,261千円

交流都市や諸外国との互恵的な関係を基盤に、各交流都市において市長自らが物産 P R などし、経済交流を推進するもの。

「住みたい」「働きたい」と思えるまち和歌山市実現プロジェクト（R8～R10年度）

令和8年度
第1回募集

事業タイプ・類型	ソフト 事業	✓	拠点整 備事業		インフラ 整備事 業		期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	181,096千円（56,326千円）
目的（効果）	「住みたい」「働きたい」と思える環境の形成を図り、若者及び市外からの移住者の定着を促進することで、継続的な社会増への転換につなげる。これにより、将来にわたって人口と地域経済を維持した持続可能で活力ある和歌山市を実現し、地域の活力を取り戻す。							
具体的使途・実施体制 ※金額はR8年 計画ベース	①市内就職の促進 ・企業の誘致活動に係る経費（企業誘致支援サービス事業に係る委託料（人件費、事業費等））：530千円 本市に不足している情報通信産業に特化した企業誘致活動を行うため、本市に関心のある企業についての情報収集と企業に向けたPR活動を行う。 ・企業の生産性向上の促進に係る経費（補助金、会場その他借上料）：1,546千円 企業の生産性向上を通じた従業員の所得向上を図るため、実証実験から最短3年以内の実装に向け先端技術等を活用したスマートシティに資する実証実験に対する補助を行うとともに、先端技術の活用を促進する勉強会等を実施する。なお、実装時期は技術難易度に依存するため、審査会において検証を行う。 補助対象者：公募により審査・採択された民間事業者等 補助率：1/2 補助上限：1,500千円（備品費に対する補助経費含めた上限） 補助対象経費：消耗品費、謝金、外注費、広報活動費、賃借料、通信運搬費、光熱水費、旅費 ・市内企業への就職促進に係る経費（就職イベント実施に係る委託料（人件費、印刷製本費、会場借上費、広告費）、広告料）：9,694千円 本市企業への就職を促進するため、SNSの活用や企業説明会の開催による情報発信の強化や就職イベントの開催により、求職者に向けた市内企業との幅広いマッチング機会を提供する。							

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

（施設整備・事業設備・備品経費）

・企業の生産性向上の促進に係る経費（補助金）：21,500千円

企業の生産性向上を通じた従業員の所得向上を図るため、労働生産性向上に資する設備投資に対し補助を行う。

補助対象者：本市に事業所を有する下記の対象業種を営む法人 又は和歌山市の地域資源を活用し、新分野開拓を行う事業を営む法人

（対象業種）製造業、道路貨物運送業、倉庫業、卸売業、小売業（無店舗小売業を除く）、旅館・ホテル、水運業、情報サービス業、インターネット附随サービス業、コールセンター業、スポーツ施設提供業、遊園地、マリナ業、植物園、水族館、自然科学研究所、デザイン業、機械設計業、植物工場

補助率：5%（1%以上の賃上げ表明した場合）、10%（3%以上の賃上げを表明した場合）

補助上限：5,000千円

補助対象経費：機械及び装置、器具及び備品（※合計2,500千円以上の設備投資が対象）

企業の生産性向上を通じた従業員の所得向上を図るため、実証実験から最短3年以内の実装に向け先端技術等を活用したスマートシティに資する実証実験に対する補助を行う。なお、実装時期は技術難易度に依存するため、審査会にて検証を行う。

補助対象者：公募により審査・採択された民間事業者等

補助率：1/2

補助上限：1,500千円（ソフト事業経費含めた上限）

補助対象経費：設備備品費（PC等汎用性の高いものを除く）

②転入増加に向けた本市の認知度の向上

・認知度向上に向けたプロモーションに係る経費（シティプロモーション事業に係る委託料（情報発信費、サイト管理費、イベント開催経費）、アニメキャラクターを活用したプロモーション事業に係る委託料（訴求アイテム製作費）、認知度向上に向けたプロモーション事業に係る製作費（キャラクター戦略の構築に係る経費、認知度向上に向けたイベント等開催経費等））：14,661千円

本市の認知度向上のため、SNSやウェブメディア等において本市のオリジナルキャラクターを活用したプロモーションを行うなど、自然環境をはじめとした本市の魅力を広く発信する。

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

・移住の促進に係る経費（会場その他借上料）：528千円

本市への移住・定住の促進を図るため、移住フェア・相談会の開催及び外部の移住フェア・相談会への出展を通じて、市の魅力を訪れた方に直接訴求するとともに、移住希望者に対する個別相談等を実施する。

・転出者のUターン移住促進に係る経費（コミュニケーションサービスの運営に係る委託料（人件費、システム運用費、イベント・アンケート調査実施費等））：3,300千円

本市へのUターンを促すため、転出者に向けた情報発信や帰省につながるイベントの実施等を行う。

③地域社会の活性化

・地域課題解決に向けた市民の意識醸成に係る経費（講演会等の開催に係る委託料（企画運営費、映像編集費、会場借上料、講師謝金等））：787千円

地域課題の解決に向けた取組について市民に向け広く周知を行うとともに、講演会等を開催することで市民が主体的に考え取り組むきっかけづくりを行う。

・地域交通の実証運行に係る経費（地域バス実証運行に係る委託料（運行人件費、燃料費、車両整備費等））：3,428千円

本市の公共交通不便地域である郊外エリアの岡崎地区において、交通利便性向上による生活環境の改善を図るため、令和9年度の実装に向けた地域交通の実証運行を行う。

（施設整備・事業設備・備品経費）

・地域交通の実証運行に係る経費（地域バス実証運行に係る看板等製作委託料（人件費、バス停調達費等））：352千円
地域交通の実証運行を行うにあたって必要となるバス停の設置及び撤去を行う。

ポスト万博期における観光高度化事業（R8～R10年度）

令和8年度
第1回募集

事業タイプ・類型	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業		期間中の総事業費 (カッコ内はR8年度事業費)	263,537千円（92,303千円）
目的（効果）	観光を「地場産品・サービスの最大の販路」と再定義し、データに基づく戦略立案を支える体制の整備や認知度向上、周遊コンテンツ造成と消費促進、観光客が安心して快適に滞在できる環境づくりを推進することで、地場産業のネットワーク化と高付加価値化を図り、観光消費額の拡大及び観光経済の面的拡大を通じて、地域経済の持続的な維持・拡大につなげる。							
具体的使途・実施体制 ※金額はR8年計画ベース	①データに基づく戦略立案を支える体制の整備とターゲット別の発信力強化による誘客促進 ・インバウンド行動調査に係る経費（システム使用料）：3,361千円 観光客の属性・行動・消費データを把握・分析し、受入環境の最適化と効果的な誘客を実現する。 ・和歌山城の新たな魅力発信に係る経費（会場その他借上料等）：749千円 ※749千円のうち、管外出張旅費（168千円）は対象外経費のため、本交付金の対象経費は581千円 令和8年放映予定の大河ドラマ『豊臣兄弟！』を契機に、豊臣氏と和歌山城の新たな魅力を発信し、市外で開催されるお城関連イベントへの出展等を通じて、来場者数増加と市内周遊を促すもの。 ・情報発信力の活用による認知度向上と観光消費額の拡大に係る経費：（観光発信人戦略共有会に係る委託料（企画運営費・会場その他借上料、報償金、消耗品費）・補助金）22,936千円 ※22,936千円のうち、補助金（キャンペーンクーポン原資分6,050千円）は対象外経費のため、本交付金の対象経費は16,886千円 観光発信人や旅行事業者等と連携した体験型発信や国内市場に向けたターゲット別キャンペーンを展開し、認知度向上と観光消費額の拡大を図る。 補助対象者：和歌山市観光協会 補助率：10/10 補助上限：19,436千円 補助対象経費：人件費・報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・負担金							

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

②周遊コンテンツ造成と消費促進による観光経済の面的拡大

・誘客力のある周遊コンテンツの造成に係る経費（固有資源活用に関する委託料（パネル製作費・設置調整費・印刷製本費））：1,000千円

葛城修験の歴史文化や友ヶ島・加太地域の自然など、地域固有の資源を軸にしたテーマ性のある周遊コンテンツを造成し、PR媒体やイベント展開を通じて誘客を図る。

・民間の稼働力を活用した新たな商品造成に係る経費（補助金・報償費）：4,610千円

民間の稼働力を活かすため、自然・歴史・文化等の地域資源を活かした新たな観光コンテンツ創出や新商品開発に取り組む事業者へ補助を行う。

補助対象者：法人又は個人

補助率：事業費の1/2以内

補助上限：最大1,000千円

補助対象経費：報酬・報償費・需用費・委託料・使用料及び賃借料・役務費

・歴史的な文化資源を活用した周遊の促進に係る経費（補助金・おもてなし忍者を活用したコンテンツ創出に係る委託料（人件費、消耗品費等）、展覧会開催に係る委託料（美術品展示に係る委託料（再委託先：運送関係法人）・通信運搬費・印刷製本費・製作費等）・印刷製本費等）：32,307千円

※32,307千円のうち、管外出張旅費15千円、賞賜金275千円、駐車場等使用料47千円、旅費162千円は対象外経費のため、本交付金の対象経費は31,808千円

大河ドラマの放送を契機とし、和歌山城における体験型プログラム（忍者登城サポート、水鉄砲イベント等）や太田城水攻め堤跡等の史跡を巡るイベントの開催、わかやま歴史館、天守閣、市立博物館の3館連携企画展や継続的な展覧会を開催することにより、歴史的価値のある文化資源を軸とした周遊モデルを確立する。

補助対象者：和歌山市観光協会

補助率：10/10

補助上限：5,000千円

補助対象経費：人件費・報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・負担金

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

・大規模集客時における市内消費促進に係る経費（負担金（警備費・観光案内所設置費用等）・クーポン作成に係る委託料（デザイン費・印刷製本費）、音楽イベント開催に係る委託料（報償費・借上料等）・手数料・通信運搬費・補助金）：
21,522千円※21,522千円のうち、補助金（クーポン原資分）12,000千円、委託料157千円は対象外経費のため、本交付金の対象経費は9,365千円
大型クルーズ船入港やコンベンション開催、学生を中心とした文化イベントなど、大規模集客の機会をとらえ、クーポン配布（交付金対象外経費）等による周遊・消費促進策を実施し、観光消費の域内循環を促進する。
（施設整備・事業設備・備品経費）
・新たな観光コンテンツ造成に対する補助金：4,500千円
補助対象者：法人又は個人
補助率：事業費の1/2以内
補助上限：最大1,000千円
補助対象経費：備品購入費
本市が有する自然、歴史、文化、食等の魅力的な地域資源を活かし、稼ぐことのできる観光コンテンツを創出することにより、市内における観光消費を促すため、新商品開発や起業、事業拡大や新たな販売方法に取り組む事業等に対して補助を行うもの。

・歴史的な文化資源を活用し周遊の促進に係る経費（文化財関連施設管理にかかる委託料（人件費等））：495千円
太田城水攻め堤跡等の史跡を巡るイベントの開催に向け、太田城水攻め堤跡に通じる里道の整備を行う。

③観光客が安心して快適に滞在できる環境づくり
・インバウンド向けの観光基盤整備に係る経費（補助金、ホームページリニューアルに係る委託料（デザイン費・翻訳費・システム構築費））：11,288千円
外国人観光客の利便性向上と周遊促進を図るため、AI翻訳機能付き端末やガイド管理システムの導入、ホームページのリニューアル等のインバウンド受入に向けた観光基盤の整備を行う。
補助対象者：和歌山市観光協会
補助率：10/10
補助上限：7,188千円
補助対象経費：人件費・報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・負担金

具体的使途・実施体制
※金額はR8年
計画ベース

③観光客が安心して快適に滞在できる環境づくり

・インバウンド向けの観光基盤整備に係る経費（補助金、ホームページリニューアルに係る委託料（デザイン費・翻訳費・システム構築費））：11,288千円

外国人観光客の利便性向上と周遊促進を図るため、AI翻訳機能付き端末やガイド管理システムの導入、ホームページのリニューアル等のインバウンド受入に向けた観光基盤の整備を行う。

補助対象者：和歌山市観光協会

補助率：10/10

補助上限：7,188千円

補助対象経費：人件費・報償費・旅費・需用費・役務費・委託料・使用料及び賃借料・負担金

・担い手の育成に向けた経費（多文化理解促進イベント開催に係る委託料（講演者謝金・印刷製本費）、交流都市における海外展開に係る委託料（PR活動費）、文化への理解を深める事業に係る委託料（報償費・広報費・製作費等）、使用料、会場借上料、消耗品費等）：8,094千円

※8,094千円のうち、外国出張旅費168千円、消耗品費：35千円、管外出張旅費235千円、賞賜金239千円、食糧費7千円は対象外経費のため、本交付金の対象経費は7,410千円

言語や文化・食（アレルギーやハラル対応など）への理解を深める研修・イベント等の実施や市民に向けた本市の観光・文化資源に触れることのできる機会の提供により、地域人材の接遇力や多文化理解度を向上させるとともに、新たな担い手の発掘・育成を図る。

（施設整備・事業設備・備品経費）

・インバウンド向けの観光基盤整備に係る経費（看板製作に係る委託料（デザイン費・印刷製本費））：999千円

外国人観光客の利便性向上と周遊促進を図るため、観光案内看板の多言語化に向けた改修を行う。